

9月定例会のあらまし

9月定例会は、8月26日から9月23日までの29日間の会期で開催されました。

初日には固定資産評価審査委員会委員の選任、教育委員会委員の任命、令和2年度弥富市一般会計補正予算（第4号）を全会一致で可決しました。

その他、令和2年度弥富市一般会計補正予算（第5号）、令和元年度弥富市一般会計歳入歳出決算認定など11議案が提出され、中日には令和2年度弥富市一般会計補正予算（第6号）が追加上程されました。所管の委員会に付託、審議し、全て原案どおり可決しました。

最終日には、令和2年度弥富市一般会計補正予算（第7号）など3議案が追加上程され、全会一致で可決しました。また、議員発議で意見書2件を全会一致で可決、議員辞職勧告決議を可否同数で議長の採決により可決しました。

本会議初日



一般会計補正予算（第4号）

問 タブレット購入費用等に、地方創生臨時交付金を活用できるか。

答 補助金を除いた分は活用できる。

問 どれだけ充当できるか。

答 1億円ほどは充当できると考える。

議案質疑



一般会計補正予算（第6号）

問 金魚飼育セットの配布は、どこでどのようなものをどう配るのか。

答 県内公共施設のべ6か所で金魚5〜6匹、エアポンプ付きの水槽（セットで2千円程度のもの）を1か所あたり200セット程を先着で配布予定。

本会議最終日



一般会計補正予算（第7号）

問 コロナとインフルエンザ、同時期の流行を避けたというなら、学校や保育所でも同じだと思いが、市の考えは。

答 高齢者の方が重篤化しやすい。

意見書の提出

◆定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出

反対

那須英二議員

必要な整備を最優先に

子育て、公園、道路、歩道、防災など必要な事業に予算が回らず、大型公共事業に前のめりの姿勢である。また、公共下水道事業等については弥富市の財政を一番圧迫しており、対応すべきだが、市はまだその立場に立っていない。

議員辞職勧告

問 提案者が考えるオンブズマン活動とは。

答 辞職勧告決議案を再読する。

問 当該議員は議員として疑義をただしているだけではないか。

答 質問者とは根本的に考えが違う。質問に答える必要はない。

◆加藤明由議員に対する辞職勧告決議（抜粋）

住民訴訟を提起されたのは平成30年の事であり一般市民としての行動なので全

提出先【内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣】
◆新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方財源の確保を求める意見書の提出
提出先【衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣】

那須英二議員

反対

堀岡敏喜議員

これは当該議員の責任うんぬんよりも、市民の権利をけん制し、圧力をかけるものである。行政自体が住民訴訟は権利であり、追求しないとしたものを、議会がぶり返して決議すべきでない。

不信任、辞職勧告、問責決議は自浄能力として行うものであり、規則、条例等に明らかに反するものであると事実としてある場合のみに決議するものである。本件はこれに当たらない。

く問題があるわけではない。弥富市議会議員となられた以上、オンブズマン活動を行うのはいかなるものか。弥富市に大きな負担を負わせる結果となる住民訴訟を提起していたことが奇異。この際、オンブズマン活動に専念されるのであれば議員を辞職して頂きたい。自らの意思により直ちにその職を辞すること勧告する。
以上、決議する。